



原田嘉兵衛

## 原田 嘉兵衛 (はらだ かへえ)

河北町名誉町民 昭和 54 年 4 月 10 日顕彰

明治 38 年 (1905) 谷地町高関 (現河北町谷地) に生まれ、  
日本大学高等師範部地理歴史科に学び、地学の研鑽に励みま  
した。

この間、日本地理学会会員、国際地理学会会員として国際  
的に活躍し、氏の研究は国の内外から高い評価を受けました。

昭和 39 年 (1964) 5 月、日本大学の学術研究とあわせて  
専門的な立場から町全域の地下構造を探究し、地域発展の一  
助にしたいと、調査研究を決断しました。同年 7 月 20 日から 8 月 1 まで、第一次日大調査  
研究班が、葉山東南斜面の地質と沢水、水温並びに断層調査、電気探査法による平野 (ひら  
の) 地区の断層追跡等を行い、さらに第二次調査研究班が昭和 42 年 2 月 24 日から 27 日ま  
で滞在して平野部の掘抜き井戸を中心に電気探査を実施し、基礎調査を終了しました。一次、  
二次の調査資料の分析に基づき、第三次調査研究班は、高関地内の地下構造の本格調査を行  
いました。

本調査の地層分析の結果、温泉湧水の可能性が極めて高いことが分かり昭和 42 年 (1967)  
2 月 8 日、日大調査研究班の手によって深さ 300 メートル地点で、孔口摂氏 30.6 度の被  
圧地下水の自噴を見るに至りました。これが、現在のべにばな温泉『ひなの湯』のもとであ  
り、原田氏は本町の地域開発に大きく貢献しました。

なお、町立図書館に、学術的に貴重な氏の蔵書 400 冊余が寄贈されています。自ら設立  
し会長を務めた海洋科学研究所の「総合海洋科学」をはじめ、「地理学雑誌」70 冊などの学  
会誌です。